

2024年4月10日付けで公表されました「グローバルシードアクセラレータープログラム（GX）実施委託業務」の事業内容について受付けた質問の内容及び回答を通知します。

番号	質問	回答
①	<p>1. 仕様書 P6「2025年2月頃に本地域で開催を予定する大規模なスタートアップイベントにおいて、本事業の取組に関連するテーマのイベント(パネルセッション・基調講演等)等を開催して協力すること。イベントに係る経費は原則として本事業において負担すること。」について</p> <p>1-1. 「大規模なスタートアップイベント」のプログラムの一部として開催するのか、サイドイベントとして別途会場等を確保の上実施するのか。</p> <p>1-2. 会場や機材など、「大規模なスタートアップイベント」側が用意するものはあるのか。(本プログラムにかかる部分については、会場費・機材費・謝礼等を全て積算することが必要か。)</p> <p>1-3. Demo Day をこのイベントに充てることは可能か。</p>	<p>1-1. プログラムの一部としての開催でもサイドイベントとしての開催でも可能です。いずれの場合も会場については「大規模なスタートアップイベント」側で提供することを予定しておりますが、別途会場を確保の上実施する提案も可能です。</p> <p>1-2. 会場及びマイク等必要最小限の機材は、「大規模なスタートアップイベント」側で提供する予定です。</p> <p>1-3. 自由に提案可能です。ただし、ここで記載している「大規模なスタートアップイベント」は、国内外に向けた当地域のブランディングを目的の一つとしているため、この趣旨に合致しないコンテンツ(いわゆるただの成果報告会)での開催は想定していません。</p>
②	<p>2. 仕様書 P5「STATION Ai 株式会社は、可能な限り定例 MTG に参加するとともに、STATION Ai メンバーである採択スタートアップに対して、STATION Ai が実施するサービスや事業会社等のネットワーク、投資機能を用いて支援を行う」、及び仕様書 P6「アクセラレータープログラムの企画から終了までの間は原則週1回程度の定例ミーティングの場を設け、随時情報共有を行うこと。その他必要に応じて不定期でミーティングを行うこと」について</p> <p>2-1. 仕様書 P5 等で「定例 MTG」と表記されているものは、支援先スタートアップと受託事業者で行うもので間違いはないか。</p> <p>2-2. 仕様書 P6 で「定例ミーティング」と表記されているものは、県と受託事業者とで行うもので間違いはないか。</p>	<p>2-1. 県と受託事業者で行うものになります。</p> <p>2-2. 県と受託事業者とで行うもので間違いありません。</p>